

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語A／仏検2・1級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級の過去問題、対策問題を解いていく。						
到達目標	仏検準2級レベルの問題を辞書なしでも十分解けるようになる。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材配付。聞き取り練習。 第2回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。 第7回：準2級用練習問題（2）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第8回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第9回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第10回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第11回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。 第12回：準2級用練習問題（3）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第13回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。 授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験80%、平常点20%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	上級実用フランス語B／仏検2・1級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検準2級に合格できる総合的な語学力の養成を目的とする。 仏検準2級の過去問題、対策問題を解いていく。 全体的に準2級に十分対応できる力がついたと認められる場合は、 2級用の問題に移ることもありうる。						
到達目標	仏検準2級レベルの問題を辞書なしで解けるようになる。準2級の力が十分についたと判断できる場合には、さらに上を目指して、 仏検2級レベルの実力養成に向かう。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材配付。聞き取り練習。</p> <p>第2回：準2級用練習問題（4）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：準2級用練習問題（5）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：動詞の問題、代名詞についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：長文読解問題（その3）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：動詞の問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験80%、平常点20%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントにて配付する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語A／仏検3・2級取得対策講座A						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	仏検3級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。実力養成のために仏検過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。						
到達目標	仏検3級レベルの問題が辞書なしでも解けるようになる。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。</p> <p>第2回：3級用練習問題（1）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第7回：3級用練習問題（2）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第8回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第9回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第10回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第12回：3級用練習問題（3）、語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第13回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第14回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。</p> <p>第15回：まとめと試験。</p> <p>第1回目以降に渡す3級対策用語彙教材をもとに、隔週で単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。</p> <p>授業後学習：前回誤答であったところを見直し、参考書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験80%、平常点20%。仏検に合格した者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	中級実用フランス語B／仏検3・2級取得対策講座B						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の実践能力の向上						
授業の概要	<p>仏検3級を取得できる総合的な語学力の養成を目的とする。実力養成のため過去問題、対策問題を解いていく。仏検3級突破に必要な語彙力をつけるとともに、文法的理解を深め、長文にも動じない読解力を養成し、また、書き取り、聞き取りの力も高める。全体的な実力向上が認められる場合は、途中から準2級対策用問題に移ることもありうる。</p>						
到達目標	<p>仏検3級レベルの問題を辞書なしでもおおむね解けるようになる。仏検3級の力がついたと認められる場合は、さらに上を目指し、準2級レベルの実力の養成を目指す。</p>						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。教材の配付。聞き取り問題練習。 第2回：3級用練習問題（4）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。 第3回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。 第4回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。 第5回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第6回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第7回：3級用練習問題（5）。語彙に関する問題、動詞問題、書き取り、聞き取り問題。 第8回：代名詞に関する問題、前置詞に関する問題、書き取り、聞き取り問題。 第9回：単語の並べ替え問題、応答問題、書き取り、聞き取り問題。 第10回：文の選択問題、長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第11回：長文読解問題（その2）、書き取り、聞き取り問題。 第12回：準2級用練習問題（1）。前置詞についての問題、語彙についての問題、書き取り、聞き取り問題。 第13回：動詞の問題、代名詞の問題、書き取り、聞き取り問題。 第14回：長文読解問題（その1）、書き取り、聞き取り問題。 第15回：試験。 隔週に単語テストを行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業までに次回に進む問題集の箇所をすべてあらかじめ解いておくこと。 授業後学習：前回誤答であったところをもう一度見直し、文法書等で確認しておくこと。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	試験に平常点を加味する。仏検に合格した者には最終成績に5点加点する。						
教科書	プリントを配布する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IA						
担当教員	打田 素之						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 フランス語の発音 第2回 Leçon 1 (1) 名詞の性と数 第3回 Leçon 1 (2) 不定冠詞 第4回 Leçon 1 (3) 部分冠詞 第5回 Leçon 2 (1) 定冠詞 第6回 Leçon 2 (2) 提示の表現 第7回 Leçon 3 (1) 主語認証代名詞 第8回 Leçon 3 (2) 規則動詞 第9回 Leçon 3 (3) 疑問形 第10回 Leçon 4 (1) être と avoir 第11回 Leçon 4 (2) 否定形 第12回 Leçon 4 (3) 疑問文に対する答え 第13回 Leçon 4 (4) 指示形容詞、筆記試験 第14回 Leçon 5 (1) 形容詞の位置 第15回 Leçon 5 (2) 形容詞の女性形						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅠA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語文法の習得						
授業の概要	文法説明のあと、その文法項目についての練習問題を解いて確実に頭に入れていきます。フランス語らしく読めるよう、綴り字と発音の関係を順を追って説明していきます。それについての小テストは毎回行います。						
到達目標	フランス語を見て、フランス語らしく読めるようになります。簡単な表現は辞書なしでわかるようになります。より複雑な表現を辞書を使ってわかるようになります。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。仏和辞典やフランス語の参考書についての説明。アルファベットの読み方書き方。</p> <p>第2回：発音記号の読み方。アクセント記号などのさまざまな記号についての説明。</p> <p>第3回：綴り字と発音との関係。第1課「名詞の性と数」「不定冠詞」。綴り字と発音の関係の小テスト。</p> <p>第4回：綴り字と発音との関係。「部分冠詞」。小テスト。</p> <p>第5回：綴り字と発音との関係。「定冠詞」。小テスト。</p> <p>第6回：綴り字と発音との関係。Voici, Voilà, C'est, Ce sont, Il y a. 小テスト。</p> <p>第7回：綴り字と発音との関係。「主語人称代名詞」。小テスト。</p> <p>第8回：中間テスト。綴り字と発音との関係。「-er動詞」。小テスト。</p> <p>第9回：綴り字と発音との関係。「-ir動詞」。小テスト。</p> <p>第10回：綴り字と発音との関係。「疑問形」。小テスト。</p> <p>第11回：綴り字と発音との関係。「êtreとavoirの現在形」。小テスト。</p> <p>第12回：綴り字と発音との関係。「否定形」。小テスト。</p> <p>第13回：綴り字と発音との関係。「疑問文に対する答え」。小テスト。</p> <p>第14回：綴り字と発音との関係。「指示形容詞」。小テスト。</p> <p>第15回：期末テスト。復習。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題を課します。必ず解いて授業にのぞんでください。その日に進むところは予習しておく必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	基本的に中間テスト、期末テストの成績で80%。小テスト10%。平常点10%。中間テスト、期末テストの平均点によって多少の変動はあります。						
教科書	≪新版≫ル・フランセ、第23刷、斎藤昌三著、白水社、 I S B N 978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅠA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス文法の習得。						
授業の概要	文法説明のあと、その文法項目についての練習問題を解いて確実に頭に入れていきます。フランス語らしく読めるよう、綴り字と発音の関係を順を追って説明していきます。それについての小テストは毎回行います。						
到達目標	フランス語を見て、フランス語らしく読めるようになります。簡単な表現は辞書なしでわかるようになります。より複雑な表現を辞書を使ってわかるようになります。						
授業計画	<p>第1回：授業の進め方の説明。仏和辞典やフラン後の参考書についての説明。アルファベットの読み方書き方。</p> <p>第2回：発音記号の読み方。アクセント記号などのさまざまな記号についての説明。</p> <p>第3回：綴り字と発音の関係。「名詞の性と数」「不定冠詞」。綴り字と発音の関係の小テスト。</p> <p>第4回：綴り字と発音の関係。「部分冠詞」。小テスト。</p> <p>第5回：綴り字と発音の関係。「定冠詞」。小テスト。</p> <p>第6回：綴り字と発音の関係。Voici, Voilà, C'est, Ce sont, Il y a。小テスト。</p> <p>第7回：綴り字と発音の関係。「主語人称代名詞」。小テスト。</p> <p>第8回：中間テスト。綴り字と発音の関係。「-er動詞」。小テスト。</p> <p>第9回：綴り字と発音の関係。「-ir動詞」。小テスト。</p> <p>第10回：綴り字と発音の関係。「疑問形」。小テスト。</p> <p>第11回：綴り字と発音の関係。「êtreとavoirの現在形」。小テスト。</p> <p>第12回：綴り字と発音の関係。「否定形」。小テスト。</p> <p>第13回：綴り字と発音の関係。「疑問文に対する答え方」。小テスト。</p> <p>第14回：綴り字と発音の関係。「指示形容詞」。小テスト。</p> <p>第15回：期末テスト。復習。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題を課します。必ず解いて授業に臨んでください。その日に進むところは予習しておく必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	基本的に中間テスト、期末テストの成績で80%。小テスト10%。平常点10%。中間テスト、期末テストの平均点によって多少の変動はあります。						
教科書	≪新版≫ル・フランセ、第23刷、斎藤昌三著、白水社、 I S B N 978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	打田 素之						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の「しくみ」を学ぶ。						
授業の概要	フランス語文法の解説と実践練習						
到達目標	フランス語基礎文法の理解						
授業計画	第1回 Leçon 5（3） 名詞と形容詞の複数形 第2回 Leçon 5（4） 冠詞 des の変化 第3回 Leçon 6（1） aller と venir 第4回 Leçon 6（2） 冠詞の縮約 第5回 Leçon 6（3） 形容詞の女性形2 第6回 Leçon 6（4） 疑問形容詞 第7回 Leçon 7（1） 不規則動詞1：faire, prendre など 第8回 Leçon 7（2） 命令形 第9回 Leçon 7（3） 所有形容詞 第10回 Leçon 8（1） 不規則動詞2：partir, vouloir など 第11回 Leçon 8（2） 比較級 第12回 Leçon 8（3） 最上級 第13回 Leçon 8（4） 特殊な比較・最上級、筆記試験 第14回 Leçon 9（1） 不規則動詞3：voir, dire など 第15回 Leçon 9（2） 複合過去1：avoir +過去分詞						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題に真摯に取り組むこと。						
授業方法	文法事項の解説とドリル練習						
評価基準と評価方法	筆記試験85%、平常点15%						
教科書	『ル・フランセ』、新版、斉藤昌三著、白水社、ISBN4-560-06052-5						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス文法の習得						
授業の概要	文法説明のあと、その文法項目についての練習問題を解いて確実に頭に入れていきます。いっそうフランス語らしく読めるよう、綴り字と発音の関係の応用編を説明していきます。それについての小テストは毎回行います。						
到達目標	フランス語を見て、フランス語らしく読めるようになります。基本的なフランス語文法問題を解くことができるようになります。簡単な表現は辞書なしでわかるようになります。より複雑な表現を辞書を使ってわかるようになります。						
授業計画	<p>第1回：前期末試験を返して答え合わせをします。「形容詞の位置」</p> <p>第2回：「形容詞の女性形」。綴り字と発音の関係の説明。小テスト。</p> <p>第3回：「名詞・形容詞の複数形」「形容詞の前の冠詞の変化」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第4回：「不規則動詞」「命令形」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第5回：「所有形容詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第6回：「不規則動詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第7回：「形容詞・副詞の比較級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第8回：中間テスト。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第9回：「形容詞の最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第10回：「副詞の最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第11回：「bonとbienの比較級・最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第12回：「不規則動詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第13回：「過去分詞」「複合過去」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第14回：「複合過去の否定形・倒置形、否定倒置形」</p> <p>第15回：期末試験。復習。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題を課します。必ずそれを解いて授業にのぞんでください。その日に進むところは予習する必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	基本的に中間テスト、期末テストで80%。小テスト10%。平常点10%。中間テスト、期末テストの成績の平均点に応じて多少の変動はあります。仏検合格者には最終成績に5点加点します。						
教科書	≪新版≫ル・フランセ、斎藤昌三著、白水社、 I S B N 978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス文法の習得						
授業の概要	文法説明のあと、その文法項目についての練習問題を解いて確実に頭に入れていきます。いっそうフランス語らしく読めるよう、綴り字と発音の関係の応用編を説明していきます。それについての小テストは毎回行います。						
到達目標	フランス語を見て、フランス語らしく読めるようになります。基本的なフランス語文法問題を解くことができるようになります。簡単な表現は辞書なしでわかるようになります。より複雑な表現を辞書を使ってわかるようになります。						
授業計画	<p>第1回：前期末試験を返して答え合わせをします。「形容詞の位置」</p> <p>第2回：「形容詞の女性形」。綴り字と発音の関係の説明。小テスト。</p> <p>第3回：「名詞・形容詞の複数形」「形容詞の前の冠詞の変化」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第4回：「不規則動詞」「命令形」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第5回：「所有形容詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第6回：「不規則動詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第7回：「形容詞・副詞の比較級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第8回：中間テスト。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第9回：「形容詞の最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第10回：「副詞の最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第11回：「bonとbienの比較級・最上級」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第12回：「不規則動詞」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第13回：「過去分詞」「複合過去」。綴りと発音の関係。小テスト。</p> <p>第14回：「複合過去の否定形・倒置形、否定倒置形」</p> <p>第15回：期末試験。復習。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回宿題を課します。必ずそれを解いて授業にのぞんでください。その日に進むところは予習する必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	基本的に中間テスト、期末テストで80%。小テスト10%。平常点10%。中間テスト、期末テストの成績の平均点に応じて多少の変動はあります。仏検合格者には最終成績に5点加点します。						
教科書	≪新版≫ル・フランセ、斎藤昌三著、白水社、 I S B N 978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	岩本 篤子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	はじめてフランス語圏を訪れた時に役に立つ会話表現を覚える。						
授業の概要	毎回5から10のフランス語の会話文を発音し、練習し、次回に小テストを行うことで確実に身につける。同時に綴り字の読み方を覚えてゆく。						
到達目標	フランス語の初歩的な会話ができるようになること。						
授業計画	第一回 名前の言い方、 アルファベ 第二回 練習問題、綴り字の読み方 第三回 住んでいる所を言う、数字1～10 第四回 否定形、数字11～40 第五回 年齢を言う、数字41～100 第六回 ここまでの復習 第七回 職業について言う 第八回 国籍について言う 第九回 1000以上の数字、綴り字の読み方復習 第十回 練習問題、綴り字記号をふくむアルファベの復習 第十一回 好きなものを言う 第十二回 時間について言う 第十三回 ここまでの復習 第十四回 練習問題 第十五回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	復習を必ずする習慣をつけて下さい。						
授業方法	演習形式						
評価基準と評価方法	小テストの平均点（80%）とまとめのテストの点数（20%）を合計して60点以上あれば合格とする。						
教科書	話せる！ 音読フランス語 200文 中川努、青柳りさ著			第三書房	978-4-8086-2198-8		
参考書	特にありません。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IC/French IC						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明、Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）、買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文、名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être、話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）、国籍・職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞、持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞、年齢・好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞、第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）、物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）、服装・持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』 伊勢晃・谷口千賀子著 早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語1C/French 1C						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。 今学期は基本的な表現を用いて、自分や他人について語るができるようになることを目指す。 また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って挨拶や簡単な自己紹介、他人の情報を尋ねることができるようになる。また、発音と綴りの関係を学習することによって、フランス語文を正しく音読できるようになる。						
授業計画	第1回：授業の説明、Leçon 0：あいさつ表現、0～20の数 第2回：Leçon 1：名詞の性・数（1）、買い物のやり取り 第3回：Leçon 0-1の復習 第4回：Leçon 2：規則動詞の活用、否定文、名前・住んでいるところを尋ねる・答える 第5回：Leçon 2, 3：さまざまな規則動詞、不規則動詞 être、話せる言語、日々の活動について語る 第6回：Leçon 3：名詞の性・数（2）、国籍・職業を語る 第7回：Leçon 4：不規則動詞 avoir、不定冠詞、持ち物について語る 第8回：Leçon 4, 5：定冠詞、年齢・好みを語る 第9回：Leçon 5：好みを語る（続き）、21～60の数 第10回：Leçon 6：所有形容詞、第三者について語る 第11回：Leçon 2-6の復習 第12回：Leçon 7：形容詞（1）、物や人を描写する 第13回：Leçon 8：形容詞（2）、服装・持ち物を描写する 第14回：まとめと筆記試験 第15回：質疑応答と口頭試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（筆記試験、口頭試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』 伊勢晃・谷口千賀子著 早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	岩本 篤子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	はじめてフランス語圏を訪れた時に役に立つ会話表現を覚える。						
授業の概要	毎回5から10のフランス語の会話文を発音し、練習し、次回に小テストを行うことで確実に身につける。同時に綴り字の読み方を覚えてゆく。						
到達目標	フランス語の初歩的な会話ができるようになること。						
授業計画	第一回 復習 第二回 一日の暮らし、代名動詞 第三回 家族の状況を言う 第四回 練習問題、綴り字の読み方復讐 第五回 曜日ごとの暮らし 第六回 練習問題 第七回 位置関係を言う 第八回 国名と言語 第九回 方位と天候を言う 第十回 道を尋ねる 第十一回 道案内、各月の名称 第十二回 昔と今を比較して言う 第十三回 過去にしたことを言う 第十四回 過去形でしゃべる練習 第十五回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	復習を必ずしてください。						
授業方法	演習形式						
評価基準と評価方法	小テストの平均点（80%）とまとめのテストの点数（20%）を合計して60点以上あれば合格とする。						
教科書	話せる！ 音読フランス語 200文 中川努、青柳りさ著 第三書房 ISBN 978-4-8086-2198-8						
参考書	特にありません。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約、行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞、さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文、道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞、食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間、一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞、複合過去（1）、一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去（2）、過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去否定文、過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去、過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去と半過去、物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』 伊勢晃・谷口千賀子著 早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ID/French ID						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	簡単な内容のフランス語を話す、聞く能力を養う。フランス語を使ってやり取りができるようになるためには、少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためのさまざまな訓練をとおして、フランス語でコミュニケーションする楽しさを味わってもらいたい。今学期はさらに表現を増やしつつ、日々の行動や過去の出来事を語るができるようになることを目指す。また、言葉だけではなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	フランス語を使って、日常生活や過去の行為・出来事について語る、尋ねることができるようになる。						
授業計画	第1回 前期の復習 第2回 Leçon 9：場所の前置詞、縮約、行き先を語る 第3回 Leçon 10：交通手段、理由を語る 第4回 Leçon 11：場所の前置詞、さまざまな物の位置関係を語る 第5回 Leçon 12：命令文、道順を言う 第6回 Leçon 9-12の復習 第7回 Leçon 13：部分冠詞、食べるもの・飲むものを言う 第8回 Leçon 14：代名動詞、時間、一日の生活を語る 第9回 Leçon 14, 15：さまざまな不規則動詞、複合過去（1）、一日の生活を語る、1000までの数 第10回 Leçon 15, 16：複合過去（2）、過去の出来事を語る 第11回 Leçon 16：複合過去否定文、過去の出来事を語る 第12回 Leçon 13-16の復習 第13回 Leçon 17：半過去、過去の状況を語る 第14回 Leçon 18：複合過去と半過去、物・事柄を評価する、飲食店でのやり取り 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所に通しておくこと（練習問題など具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する内容に応じて、文法や使用する表現・単語を見たあと、教師と学生、学生同士などで口頭練習を行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題や提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『Ça va ?』 伊勢晃・谷口千賀子著 早美出版社 ISBN 978-4-86042-052-9						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	川口 陽子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IBの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。教科書の未修部分はフランス語IIBで学習します。						
到達目標	フランス語の基本的な代名詞（関係代名詞、疑問代名詞、人称代名詞〔主語・直接目的・間接目的・強勢形〕、指示代名詞、再帰代名詞、中性代名詞）を学習し、簡潔なフランス語で表現できるようになります。また、現在・過去に加え未来の表現も学び、現在・過去・未来においてすること・したこと・する予定のことを表現できるようになります。						
授業計画	第1回 フランス語IBの復習：現在と複合過去 第2回 第10課：関係代名詞 第3回 第10課：疑問代名詞 第4回 第11課：人称代名詞 第5回 第11課：直接目的補語と過去分詞の一致 第6回 第12課：受動態 第7回 第12課：指示代名詞、強調構文 第8回 第13課：代名動詞現在 第9回 第13課：代名動詞複合過去 第10回 第13課：非人称構文 第11回 第14課：単純未来 第12回 第14課：前未来 第13回 第14課：中性代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 復習と発展練習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題や自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	授業内評価50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIA						
担当教員	木谷 吉克						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス文法の習得。						
授業の概要	フランス語文法の完成 昨年度から継続して、第10課より始める。文法説明以外に、フランス語らしく読めるよう指導もする。またそのための小テストも毎回行なう。 第8回目の授業時に中間試験を行い、15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	代名動詞の文や非人称構文の文だけでなく、関係代名詞、人称代名詞をともなった複雑な文をも理解し、直説法単純未来という新たな時制の文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：昨年度の試験を返却し、解答する。授業の進め方の説明。関係代名詞 qui, que 第2回：関係代名詞 dont, où 第3回：変化しない疑問代名詞 第4回：変化する疑問代名詞 第5回：人称代名詞（直接目的・間接目的） 第6回：人称代名詞（肯定命令文に付く場合） 第7回：強勢形人称代名詞 第8回：中間試験と授業、直接目的語と過去分詞の一致 第9回：受動態 第10回：指示代名詞、強調構文 第11回：代名動詞の命令形・現在形・複合過去形 第12回：代名動詞の用法 第13回：非人称構文、直説法単純未来の語幹と語尾 第14回：直説法単純未来の用法。前未来 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試験80%、平常点20%。仏検合格者には最終成績に5点加点する。						
教科書	《新版》ル・フランセ、斎藤昌三著、白水社、ISBN978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	川口 陽子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語初級文法の完成						
授業の概要	フランス語IIAの授業を引継ぎ、基本的な文法を学び、フランス語の「しくみ」を習得することが目標です。文法事項の説明の後、それを明確に理解するために練習問題を行います。全員理解を目指して、各文法事項の説明と練習問題に十分な時間をかけて進んでいきます。						
到達目標	過去の状態・習慣の表現を学び、さらに豊かに過去について表現できるようになります。さらには、仮定の世界での表現（条件法）、従属節を用いた表現（接続法）も学び、より複雑なフランス語の表現もできるようになります。書き言葉で用いる活用（単純過去・前過去）を理解することにより、様々な資料を読むことが可能となります。						
授業計画	第1回 フランス語IIAの復習：現在・複合過去・単純未来 第2回 第15課：半過去 第3回 第15課：大過去 第4回 第15課：前置詞＋関係代名詞 第5回 第16課：条件法現在 第6回 第16課：条件法過去 第7回 第16課：現在分詞、ジェロンディフ 第8回 第17課：単純過去 第9回 第17課：前過去 第10回 第17課：直接話法と間接話法 第11回 第18課：接続法現在 第12回 第18課：接続法過去 第13回 第18課：所有代名詞 第14回 まとめと試験 第15回 復習と発展練習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業での説明を踏まえて、練習問題にまず各自で取り組んでください。そして授業中は自分の理解度を把握するように努め、その中で見えてきた疑問点は放置せず、必ず質問してください。 授業後学習：練習問題や小テストで間違えた問題や自信がなかった問題を復習してください。教科書やノートを読み直しても分かり難いところは放置せず、必ず質問してください。また、教科書の例文や練習問題を何度も音読し、フランス語の文に慣れるようにしてください。						
授業方法	講義と演習を並行して行います。出席者全員の理解を目指して、毎回小テストを行います。						
評価基準と評価方法	授業内評価50%（特に小テスト）、学期末試験50%						
教科書	『《新版》ル・フランセ』 齊藤昌三、白水社、2001年 ISBN 978-4-560-06052-0						
参考書	必要に応じて指示します。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIB						
担当教員	木谷 吉克						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語文法の習得						
授業の概要	フランス語文法の完成 フランス語文法をひとつおわり終えることを目指す。文法説明以外に、フランス語らしく発音できるよう指導もする。そのための小テストを毎回行う。 第8回目の授業時に中間試験を行い、15回目の授業時に期末試験を行う。						
到達目標	さまざまな時制の文を理解し、中性代名詞をともなう文や、現在分詞やジェロンディフの使われた文にも対応できる力を養う。						
授業計画	第1回：前期末試験を返却して解答する。授業の進め方の説明。 中性代名詞le。 第2回：中性代名詞en、 第3回：中性代名詞y、直説法半過去の語幹と語尾 第4回：直説法半過去の用法 第5回：直説法大過去の活用 第6回：直説法大過去の用法 第7回：前置詞に先行される関係代名詞 第8回：中間試験と授業、条件法現在 第9回：条件法過去 第10回：現在分詞、ジェロンディフ 第11回：半過去、大過去、条件法現在、条件法過去の時制の一致の用法 第12回：間接話法 第13回：接続法現在 第14回：接続法過去、所有代名詞 第15回：まとめと期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに次回に進む教科書のページの説明を読み、例文を辞書を使って調べておくこと。 授業後学習：学んだところの宿題を、教科書、ノートを参考に解いておくこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	定期試80%、平常点20%。仏検合格者には、最終成績に5点加点する。						
教科書	新版 ル・フランセ、斎藤昌三著、白水社、ISBN978-4-560-06052-0						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	釣 馨						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、読んだり、話したりする力をつける：						
授業の概要	フランス語を使った基本的なコミュニケーション能力を身に着けます。最初のうちは仏検形式の問題を使って初級文法を復習しながら授業を進めますので、忘れてしまった学生さんも安心して受講してください。CALL教室を使うので、フランス語のサイトや動画も活用します。途中、簡単な確認の試験や口答試験もやります。後半から映画のシナリオを導入します。						
到達目標	文法的には仏検5級レベルの力を確実につける。またフランス語で自己紹介や身近なことを表現できるようにする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&アンケート 2. 仏検問題で復習(1) 3. 仏検問題で復習(2) 4. 仏検問題で復習(3) 5. 仏検問題で復習(4) 6. フランス語で自分のことを説明する(1) 7. フランス語で自分のことを説明する(2) 8. フランス語で自分のことを説明する(3) 9. 口頭テスト 10. 映画教材「WASABI」 11. 映画教材「WASABI」 12. 映画教材「WASABI」 13. 試験対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次回進む部分をあらかじめ調べてくること。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(20%)と口頭テスト(30%)、期末試験(50%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIC/French IIC						
担当教員	釣 馨						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、読んだり、話したりする力をつける：						
授業の概要	フランス語を使った基本的なコミュニケーション能力を身に着けます。最初のうちは仏検形式の問題を使って初級文法を復習しながら授業を進めますので、忘れてしまった学生さんも安心して受講してください。CALL教室を使うので、フランス語のサイトや動画も活用します。途中、簡単な確認の試験や口答試験もやります。後半から映画のシナリオを導入します。						
到達目標	文法的には仏検5級レベルの力を確実につける。またフランス語で自己紹介や身近なことを表現できるようにする。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション&アンケート 2. 仏検問題で復習(1) 3. 仏検問題で復習(2) 4. 仏検問題で復習(3) 5. 仏検問題で復習(4) 6. フランス語で自分のことを説明する(1) 7. フランス語で自分のことを説明する(2) 8. フランス語で自分のことを説明する(3) 9. 口頭テスト 10. 映画教材「WASABI」 11. 映画教材「WASABI」 12. 映画教材「WASABI」 13. 試験対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次回進む部分をあらかじめ調べてくること。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(20%)と口頭テスト(30%)、期末試験(50%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける						
授業の概要	後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。						
到達目標	映画を通して、フランス語のスムーズな読み、フランス語の基本的な表現を身につける。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏検問題で復習(1)、動画とシャンソン 2. 仏検問題で復習(2)、動画とシャンソン 3. 仏検問題で復習(3)、動画とシャンソン 4. 小テスト、映画「アメリ」(1) 5. 映画「アメリ」(2) 6. 映画「アメリ」(3) 7. 映画「アメリ」(4) 8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1) 9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2) 10. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(1) 11. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(2) 12. 映画「パリ、ジュテーム」(1) 13. テスト対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次に進む部分をあらかじめ調べてくる。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、50%)と期末試験(50%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IID/French IID						
担当教員	釣 馨						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を聞いたり、話したりする総合的な力をつける						
授業の概要	後期からは本格的に映画のシナリオを導入します。映画のシーンを使ってフランス語を学ぶ利点は、フランス語が話される現場に立ち会えることです。どんなフランス語が、どのような状況で話されているのか考察し、そこで使われている表現を実際に使ってみましょう。授業はテキストを使用せず、随時プリントを配布します。						
到達目標	映画を通して、フランス語のスムーズな読み、フランス語の基本的な表現を身につける。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仏検問題で復習(1)、動画とシャンソン 2. 仏検問題で復習(2)、動画とシャンソン 3. 仏検問題で復習(3)、動画とシャンソン 4. 小テスト、映画「アメリ」(1) 5. 映画「アメリ」(2) 6. 映画「アメリ」(3) 7. 映画「アメリ」(4) 8. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(1) 9. 映画「スパニッシュ・アパートメント」(2) 10. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(1) 11. 映画「ハウルの動く城、仏語音声」(2) 12. 映画「パリ、ジュテーム」(1) 13. テスト対策プリント 14. 期末テスト 15. テスト返却、見直し 						
授業外における学習（準備学習の内容）	練習問題や映画のシナリオは次に進む部分をあらかじめ調べてくる。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	出席を含めた平常点(シナリオの訳を担当してもらいます、50%)と期末試験(50%)で総合的に評価します。						
教科書	随時プリントを配布						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIE						
担当教員	単位認定者：打田素之						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	実践的な会話能力の養成						
授業の概要	外国人にフランス語を教える資格（FLE）を持ったフランス人教員をフランスより招いて、実践的なフランス語能力の養成を目指す。						
到達目標	フランス語の学習歴に応じた会話能力の養成。						
授業計画	初級3クラス、中級1クラスの合計4クラスが開講され、授業内容は登録クラスに拠って異なる。開講期間は、8月6日（水）～8月26日（火）の3週間（土・日は除く）						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習を怠らないこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	平常点（小テストを含む）100%						
教科書	開講時に指示する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIF						
担当教員	単位認定者：打田素之						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	実践的な会話能力の養成						
授業の概要	外国人にフランス語を教える資格（FLE）を持ったフランス人教員をフランスより招いて、実践的なフランス語能力の養成を目指す。						
到達目標	フランス語の学習歴に応じた会話能力の養成。						
授業計画	初級3クラス、中級1クラスの合計4クラスが開講され、授業内容は登録クラスに拠って異なる。開講期間は、8月6日（水）～8月26日（火）の3週間（土・日は除く）						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習を怠らないこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	平常点（小テストを含む）100%						
教科書	開講時に指示する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅢⅠA						
担当教員	野口 一浩						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語の作文力をきわめる！						
授業の概要	テキストを進みながらフランス語の作文力をつけることが大切です。毎回授業の最初10分で前回のポイント範囲にして小テストを行います。また、書く力に主眼を置くのは勿論ですが、それをいかに会話にいかすかということも常に考えます。教員の長期間にわたる在仏経験からどのような状況で該当の表現を使うのかアクションフレンチを披露しながら皆で実践していきます。この様に書く力と話す力が融合した総合コミュニケーションを目指すのが当講義です。是非、楽しく且つ厳しく授業をしますのご参加ください。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なフランス語作文力に自信がもてるようになる。 2. 作文力から会話力に転換できるようになる。 3. フランス語の作文を通してフランス人のものの考え方に迫る。 4. 積極的にフランス語及びフランス文化を研究し、将来留学や旅行にもそれを応用する。 						
授業計画	第1回 オリエンテーション・êtreの解説（予習プリント1・être） 第2回 être動詞の予習プリント解説 第3回 教科書L1・êtreのエクササイズ 第4回 avoir動詞の予習プリント解説 第5回 教科書L2・avoirのエクササイズ 第6回 faire動詞の予習プリント解説 第7回 教科書L3・faireのエクササイズ 第8回 aller／venir動詞の予習プリント解説 第9回 教科書L4・aller／venir動詞のエクササイズ 第10回 voir／regarderの予習プリント解説 第11回 教科書L5・voir／regarderのエクササイズ 第12回 mettre動詞の予習プリント解説 第13回 総合復習L1-L5+mettre動詞 第14回 総合復習そして前期試験 第15回 教科書L6mettre動詞のエクササイズ						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：その授業の前の回に学んだポイントを中心に小テスト（約10分）を実施しますので、該当の範囲をしっかりと復習すること。また、当日解説する作文箇所は自分でノートに書いてくること。 授業後学習：その日に学んだ表現を復習すること。特に授業中に「重要」と叫んだ箇所は小テストに出題される可能性が非常に高いので何度も書いて復習することが大切です。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験1回（60%）、課題と小テストと授業中の発言力の合計（40%）						
教科書	「基本動詞によるやさしいテーマ（改訂版）」青井 明著 白水社 ISBN978-4-560-06050-6						
参考書	特になし。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIB						
担当教員	野口 一浩						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	前期で学んだフランス語の作文力を更に高め、会話力にも応用させる。						
授業の概要	前期では基本的な動詞を中心に作文力を鍛えました。後期は動詞のレベルは更に上がり、また使うボキャブラリも複雑になります。より会話力とも連携させながら、書く力を磨きます。後期の大きな目標はオリジナルの「自由会話文」を自分の力で完成させ、提出することです。毎回の小テストも前期に比べ難解になりますが、皆さんの力も比例してついているので苦ではありません。いずれにせよ、いつか皆さんにはフランス語圏に留学が旅行で行っていただいて、学んだ表現を使ってもらいたいです。是非、やる気のある学生よ、参加してください。						
到達目標	1. 作文力に一層の磨きをかける。 2. 創造性を生かして、「自由会話文集」を完成させる。 3. 実際にフランス語圏に行く事が出来ないが可能性を探りながら、自分の使いたい表現を完璧なものにする。						
授業計画	第1回 オリエンテーション・予習プリントpouvoirの解説① 第2回 予習プリントpouvoirの解説② 第3回 教科書L7・pouvoirのエクササイズ 第4回 予習プリントprendreの解説 第5回 教科書L8・prendreのエクササイズ 第6回 予習プリント falloirの解説 第7回 教科書L9・ falloirのエクササイズ 第8回 予習プリント arriverの解説 第9回 教科書L10・ arriverのエクササイズ 第10回 予習プリントvouloirの解説 第11回 教科書L11・vouloirのエクササイズ 第12回 フランスに関するドキュメンタリー鑑賞及び討論・小テスト（ビデオの内容について） 第13回 L7-L11の総復習① 第14回 L7-L11の総復習②+後期試験 第15回 L12 passerの解説+エクササイズ						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回に学んだ箇所の重要ポイントを中心に復習して小テストに備える。また当日の作文箇所を予習して各自のノートに書き込んでくる。 授業後学習：当日学んだ重要事項をすぐに復習して、ノートを整理。動詞の活用表なども必ず作成し、各自のノートに丁寧に書いておく。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験（1回）60%、課題〔自由会話集〕と小テストと授業中の発言の3つで40%						
教科書	「基本動詞によるやさしいテーマ（改訂版）」青井 明著〔白水社〕 ISBN978-4-560-06050-6						
参考書	特になし。						

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIIC/French IIIC						
担当教員	G. Haraguchi						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語会話。 フランス社会を知る。						
授業の概要	各種教材（テキスト、CD、ビデオ）を用いて日常会話を学習し、フランス社会について知る。						
到達目標	フランスの日常生活に関する会話を通して習得したフランス語の知識と能力を高める。フランスの社会と文化に関する知識を深める。						
授業計画	1- はじめに：自己紹介。授業の進め方や教科書・副教材の使い方について説明。 2- 復習。 3-4-5- レストランにて 6-7- 交通機関と旅行 8-9- 身体と健康 10-11-12- バカンス 13-14-郵便局にて 15- テスト・補習 テーマごとに、2、3回の授業（会話練習と文化的知識）。						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習： 1- テキストを読み、CDを聞く。 2- 取り上げられるテーマについて予め調べる。 3- クラスでのディスカッションのため、小発表や質問事項を準備する。 欠かさず出席することが必須。						
授業方法	会話						
評価基準と評価方法	レポート30% 小テスト 50% オーラル20%						
教科書	EN SCENE II 著者：高橋百代ほか 出版社：三修社 ISBN：978-4-384-23206-6C1085						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語IIID/French IIID						
担当教員	G. Haraguchi						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3~4	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語会話。 フランス社会を知る。						
授業の概要	各種教材（テキスト、CD、ビデオ）を用いて日常会話を学習し、フランス社会について知る。						
到達目標	フランスの日常生活に関する会話を通して習得したフランス語の知識と能力を高める。フランスの社会と文化に関する知識を深める。						
授業計画	1- Exposés des travaux de vacances 2- 3-生活と環境 4-5-6-日常生活（1）：家族 7-8-9 日常生活（2）：週末の過ごし方 10-11-12-さまざまな感情 13-14- まとめ 15-テスト・補習 テーマごとに、2、3回の授業（会話練習と文化的知識）。						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習： 1- テキストを読み、CDを聞く。 2- 取り上げられるテーマについて予め調べる。 3- クラスでのディスカッションのため、小発表や質問事項を準備する。 欠かさず出席することが必須。						
授業方法	会話						
評価基準と評価方法	レポート30% 小テスト 50% オーラル20%						
教科書	EN SCENE II 著者：高橋百代ほか 出版社：三修社 ISBN：978-4-384-23206-6C1085						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語ⅢE						
担当教員	単位認定者：打田素之						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	実践的な会話能力の養成						
授業の概要	外国人にフランス語を教える資格（FLE）を持ったフランス人教員をフランスより招いて、実践的なフランス語能力の養成を目指す。						
到達目標	フランス語の学習歴に応じた会話能力の養成。						
授業計画	初級3クラス、中級1クラスの合計4クラスが開講され、授業内容は登録クラスに拠って異なる。開講期間は、8月6日（水）～8月26日（火）の3週間（土・日は除く）						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習・復習を怠らないこと。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	平常点（小テストを含む）100%						
教科書	開講時に指示する。						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	フランス語研修						
担当教員	単位認定者：木谷吉克						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	生活フランス語の学習と実践。フランスの生活や生活のリズムを体得。						
授業の概要	南フランスのモンペリエ市にある語学学校「アクサン・フランセ」で、午前中フランス語の授業を受けます。午後は自由時間です。週に1、2度は近くの観光地を訪れ観光します。日曜日は朝から遠くの有名な観光地を訪れ観光します。						
到達目標	フランスのいろんな店で、店員さんとフランス語をやり取りして必要な買い物ができるようになります。道に迷ったときなど、フランス人にたずねて教えてもらい、窮地を脱することができるようになります。フランスの生活の特徴、日本の生活との違いなどがわかるようになります。						
授業計画	授業は9時30分から12時30分まで行われ、あいだに15分間の休み時間があります。土曜日、日曜日は、授業がありません。約2週間授業が行われます。モンペリエでのフランス語研修が終わると、パリに移行します。パリでは1週間滞在し、観光を行います。						
授業外における学習（準備学習の内容）	フランス語でしか話が通じませんので、必死にフランス語を使わなければなりません。ですので、出発前には、フランスで使えるいろんな表現をできるだけ覚えるよう努力する必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	成績による評価は行いません。						
教科書							
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話A/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	1) 自分や他人について、語る・尋ねる、2) 日常生活について語る・尋ねる、をテーマにフランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。 また、教室内で用いる指示の表現や質問の仕方も習得する。						
授業計画	第1回：授業の説明。教室で使う表現。1-1 自分・相手・第三者の名前、国籍、出身地、0~10 第2回：1-1 自分・相手・第三者の名前、国籍、出身地、0~10（続き） 第3回：1-2 国籍、住んでいるところ、11~60、値段、年齢 第4回：1-3 職業、言語、61~1000、電話番号 第5回：1-4 好き嫌い、1001~10000、年号 第6回：復習と文法のまとめ 第7回：2-1 月曜から日曜まで 第8回：2-2 起きてから寝るまで 第9回：2-2 起きてから寝るまで（続き） 第10回：2-3 すること、しないこと 第11回：2-3 すること、しないこと（続き） 第12回：2-4 すでにしたこと、週末にしたこと 第13回：2-4 すでにしたこと、週末にしたこと（続き） 第14回：復習と文法のまとめ 第15回：質疑応答と最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。 授業中の質疑応答などはできる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『フランス語2020』 中川 努他著 白水社 ISBN978-4-560-06105-3						
参考書							

科目区分	外国語科目（フランス語）						
科目名	やさしいフランス語会話B/French Conversation for Beginner						
担当教員	谷口 千賀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	フランス語を話す、聞く						
授業の概要	これまでに学習したことを元にして、フランス語を話す・聞く能力のさらなる向上を目指す。フランス語の運用能力を高めるためには少しでも多く話し、聞くことが大切である。そのためにこのクラスでは授業中の質疑応答など、できる限りフランス語を用いて授業を進める予定である。また、言葉だけでなくフランスの文化や生活にも触れたい。						
到達目標	1) 過去のことを話す・尋ねる、2) 描写する、意見を言う、欲求を伝える、働きかける、をテーマにフランス語で話し、聞く能力を身につけることを目標とする。						
授業計画	第1回：前期の復習。3-1 したこと、あったこと 第2回：3-1 したこと、あったこと（続き） 第3回：3-2 あのころは… 第4回：3-2 あのころは…（続き）。3-3 場所と思い出 第5回：3-3 場所と思い出（続き） 第6回：3-4 できごとと背景 第7回：3-4 できごとと背景（続き）。復習と文法のまとめ 第8回：4-1 描写、印象・意見 第9回：4-1 描写、印象・意見（続き）。4-2 欲しいもの、好き嫌い、理由 第10回：4-2 欲しいもの、好き嫌い、理由（続き） 第11回：4-3 身体の調子、したいこと・しなければならないこと、助言 第12回：4-3 身体の調子、したいこと・しなければならないこと、助言（続き） 第13回：4-4 許可、依頼、指示、メール、手紙 第14回：4-4 許可、依頼、指示、メール、手紙（続き）。復習と文法のまとめ 第15回：質疑応答と最終試験（口頭・筆記）						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業までに教科書の該当する箇所を目を通しておくこと（具体的な作業は授業中に行う）。 授業後学習：毎回必ず学習内容を復習すること。各課が終了するごとに小テストや課題を課する。						
授業方法	講義。各課で学習する文法や表現・単語を確認したあと、教師と学生・学生同士などで口頭練習を行いながら知識の定着をはかる。 授業中の質疑応答などはできる限りフランス語を用いて行う。						
評価基準と評価方法	学期末の最終試験（口頭試験・筆記試験合わせて60%）、授業中の小テスト（20%）、授業中の課題・提出物（20%）の成績により、総合的に評価する。						
教科書	『フランス語2020』 中川 努他著 白水社 ISBN978-4-560-06105-3						
参考書							